

# MultiMix 8 Line の拡張性



Alesis MultiMix 8 Lineは、2台（または複数台）のユニットをTRSケーブルで接続すると、ミックスバスを共有し、16チャンネル・ステレオ入力（またはそれ以上）が可能です。またその際、インサクションケーブル（TRS - 2TSタイプのY字ケーブル）を使用すれば、ユニット間でエフェクトバスを共有可能ですので、同じリバーブやコンプレッサ、その他のエフェクタを複数のミキサ間でチェーンできます。

## 【チャンネル入力の共有】

下図はMultiMix 8 Lineを3台接続した状態です。上流側のミキサの「MAIN EXPAND OUT」から下流側のミキサの「MAIN EXPAND IN」へTRS - TRSケーブルで接続します。この状態で、ミックスバスは共有され、上流のミキサのチャンネルに入力された信号は下流へと流れます。

「MAIN EXPAND OUT」はMASTERボリュームの前段に配置されていますので、このように複数台を接続した状態では、上流側のMASTERボリュームは機能せず、最下流のミキサのMASTERボリュームがシステム全体のマスタボリュームとなります。

## 【エフェクトバスの共有】

TRS - 2TSケーブル（Y字ケーブル若しくはインサクションケーブル）を用いて、上流側のミキサの「EFFECTS SEND L/R」から下流側のミキサの「FX BUS LINK」へ接続しますと、エフェクトバスが共有されます。上流側のチャンネルのセンドで送られた信号は下流へと流れ、最下流のミキサの「EFFECTS SEND & RETURN」に接続されたエフェクト・プロセッサに送られます。

オーディオ信号の流れ

上流

